

# 令和4年度 坂町議会『議員』の評価

評価期間 令和4年4月1日 ～ 令和5年3月31日

評価実施者 中 雅洋 年齢 74 才 議員経験年数 28 年

評価日 令和5年3月31日

評価の分類価 ◎：「よくできた」 ○：「できた」 △：「努力が必要」 ×：「殆どできなかった」

主要評価項目	評価	評価理由	課題
<b>1. 議員活動の原則</b> 1) 議会において、特に、言論を尊重し、自らの発言に責任を持ち、意見を述べたか。	◎	定例会での質疑・一般質問での質疑・応答、全員協議会で行政側から議案の事前協議に対する質疑・応答、予算審査特別委員会での質疑・応答等、古株議員として、他の議員に対し模範となるよう意識し、質疑・応答を心掛けて発言をしていったと考えている。	
2) 町民全体の代表者としての責務を深く自覚し、自己の能力を高める活動を積極的にしたか。	◎	コロナ禍の中ではあったが、アカデミー研修(R4,8.1&R5,1,10)2回、政務活動で1回研修会に参加した。内容では、【歴史に学び地方の未来を読む】が最も印象に残り、議員活動だけでなく、人生にも大きなプラスになったと思う。最も良い講義であった。	
3) 個別的な事案の解決だけでなく、町民全体の生活の向上を目指して活動したか。	○	従来からの課題である生活道路拡幅の推進に向け、その必要性を訴え、地区要望等により取り組んだ。 具体的には、3部地区だけでも多々あり、地権者の理解を取り付けながら進めたが、結果、地区要望だけが先行し、予算や通り抜け道路でなく、途中迄なので、5年10年のスパンでしか進捗しなかった。	現時点では地権者が協力できる所まで地区要望しているが、通り抜けできるよう、全地権者の了解は得られない。 道路に面した家庭での条件が各々違い、家がまだ新しかったり、まだ家を改修する予定がない等足並みが揃わない。行政側には、できるところまでを進めないと100年たっても拡幅できないというのだが。
<b>2. 自由討議の拡大</b> 町政の課題や議会改革の推進について、議員相互間の自由討議（質問、討論）により議論を尽くして合意形成に努めたか。	○	全員協議会等で自由討議をしているが、本来の自由討議にはなっていない、フリー討議はたまには実施しているが、拳手が面倒でやっているとしたか思えない。	議会基本条例を読めば分かる事だが、課題に対し、自由討議を活用する事ができていない。進捗に影響ないから、黙認。
<b>3. 議会費および政務活動費</b> 政務活動費の使途は適正かつ活動に有効に使われたか。また、議長に対して、証書類を添付した報告書を提出したか。	◎	今年度もコロナ感染症拡大防止の為、研修も少なく、希望する講義の募集も少なく、研修参加が全くできなかった。 故に活動費は半分以上を返金し、報告は、3月末に証書添付し、議長に提出した。	
<b>4. 選挙公約の評価</b> ①災害対策に最優先で取り組む ②生活道路の拡幅 ③排水路の整備・向上 ④住民目線を行政に反映する。	◎  ◎  ○  ◎	①災害対策特別委員会にて、災害発生個所の整備状況の報告を受け質疑応答。概ね順調に復旧中。 ②道路拡幅の整備箇所を地区要望とあわせ、より詳細な地区の情報提供をおこない、拡幅推進活動をおこなった。 ③排水路の未整備箇所の進捗状況を、行政側に問いただし、進捗をフォローしていった。 ④コロナ禍の中、報告会もなかったが、個々も少なく道路拡幅要望が多々あった。道路の穴補修、排水路の蓋掛けの清掃等の苦情処理に取り組んだ。	低地帯の排水路整備は国土強靱化策としても、重要であり、早急に整備していく予定というが、時間を要しすぎなので、前倒しして進めるよう要望した。